

2025年
3月

スピード

コスト

品質

そして

人材不足

開発変革セミナー 2025 冬

……問題山積みの **開発** 現場を

変革

する道標

開催日 : 2025年3月18日(火)～ 3月19日(水)

申込締切 : セッションプラン…2025年2月25日(火)
リストプラン …2025年3月13日(木)



開催概要

名称	開発変革セミナー 2025 冬 ～スピード、コスト、品質、そして人材不足 ……問題山積みの開発現場を変革する道標～	事前申込者数	約600～800名想定 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、実際には開催する テーマ数などに応じて前後する場合がございます
開催日	2025年3月18日(火)～ 3月19日(水)	想定視聴者属性	IT部門長、経営者、経営企画、社内情報シス テムの企画担当者、開発・方針策定者など
申込締切	セッションプラン…2025年2月25日(火) リストプラン …2025年3月13日(木)	開催テーマ	セッション1-1：ソフトウェア品質向上 セッション1-2：内製化支援 セッション2 ：ローコード開発
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント	運営	アイティメディア株式会社
主催・企画・告知・集客			

過去実績



イベント名	@IT 開発変革セミナー 2024 秋 ～堅実に、かつアグレッシブにデジタル化を 進めるために全業種で必要とされる知恵と知見～
日程	2024年11月13日(水)～11月14日(木) ※11月26日(火)までアーカイブ配信
登録者数	555名
視聴者数	406名
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-12-08/2d1ns91

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

企画趣旨

スピード、コスト、品質、そして人材不足……問題山積みの開発現場を変革する道標

社会全体でデジタル化が進む今、企業や組織にも多数のアプリケーションを効率良く、スピーディーに開発、リリースすることが求められている。また、世界的なエネルギーの需給逼迫に円安が加わり、ソフトウェアライセンスやクラウドサービスの価格が高騰した結果、ITコストの削減が急務となっている。さらに、およそ全てのITサービスが社会基盤となり、ビジネス基盤となった今、ビジネスがアプリケーションに求める品質の高度化が一層厳しくなっている。現実にはアプリケーションの品質に起因する事件や事故が頻出して社会問題化しているのも周知の通りだ。自社や自組織の価値を、アプリケーションを通じて提供することが本来の目的だとしても、スピード、コスト、品質という3要件を満たすことはその前提条件となっているのが現状だ。ビジネス要請に応える開発現場には、人材不足も加わり、問題が山積している。

本セミナーでは、コスト削減、品質管理、そしてビジネスニーズの変化にスピーディーに応える上で企業や組織がとるべきアプローチとして、ローコード開発、ソフトウェア品質向上、内製化支援の3ゾーンにおいて現実的な手法を説く。

スピード、コスト、品質という3要件を満たし、社会基盤、ビジネス基盤として機能し得る本当のITサービス、アプリケーション開発につながる道標としたい。

開催テーマ

セッション1-1

ソフトウェア品質
向上

セッション1-2

内製化支援

セッション2

ローコード開発

| 概要 **ソフトウェア品質向上**

ビジネスのスピード、変化対応力が求められる中で、開発もその効率性が重視されている。利便性の高い新たなサービス価値を生み出すことが競争力の源泉となっているにもかかわらず、人材不足となっている企業も多い。こうした中で、快適、安心、安全に使えるアプリケーションを開発するには、どうすればいいのか。ソフトウェアライセンスやクラウドサービスの値上げに伴うコスト削減を求められる現場が増えている中、限られたリソースでも社会や企業の発展に役立つ「攻めの品質管理」のポイントを説く。

| **視聴者の抱える課題**

- 今の品質保証体制の改善の仕方が分からない
- テストコードを書く工数をどう減らせばいいか分からない
- 人材不足、リソース不足解消の方法を知りたい
- テスト自動化、テスト仮想化の実践方法が分からない

| **キーワード**

- | | | |
|-------------|--------------------------|--|
| • 品質保証 | • プロジェクト管理 | • CI/CD |
| • 品質管理 | • 保守 | • DevSecOps |
| • テスト管理 | • バグ管理 | • APM(アプリケーションパフォーマンス管理) |
| • AIによる開発支援 | • ソースコード管理 | • 脆弱性管理 |
| • AIによる品質向上 | • コラボレーション開発 | • SBOM(Software Bill Of Materials：ソフトウェア部品表) |
| • テスト自動化 | • QA(Quality Assurance) | • 技術的負債 |
| • データ仮想化 | • DevOps | |
| • ソースコード解析 | • エンタープライズアジャイル／プロトタイピング | |
| • コードレビュー | | |

概要 内製化支援

社会全体でデジタル化が進む中、企業は自社の価値を、アプリケーションを通じて提供することが求められている。コストを抑えて、ニーズの変化にスピーディーに応じて価値を提供する上で、内製化はもはや不可欠なアプローチといえる。だが、既存事業、既存システムの上に立脚してきた企業が内製化に取り組む上では、さまざまなハードルがあるのが現実だ。本ゾーンでは、内製化を支援するパートナー企業の具体的なサービスの紹介とともに、企業が内製化を実践する上で採るべき現実的な方法を探る。

視聴者の抱える課題

- 従来型の開発プロセスから変革する方法が分からない
- 自社にとって最適なIT戦略を立案する方法が分からない
- 内製化がよく分からないので、最新のトレンドや事例を知りたい
- 社内でDXプロジェクトを主導できる人材がいない/DXプロジェクトの進め方が分からない
- 誰に頼めばいいか分からない（おすすめのパートナーを知りたい）

キーワード

- 内製化支援
- 内製化トレーニングサービス
- 内製化推進ソリューション
- マネージドサービス／伴走型SIサービス
- クラウド移行支援
- クラウド基盤構築支援
- 運用支援

概要 ローコード開発

「開発スピードの向上」や「開発コストの削減」が期待されるローコード開発。だが使い方を誤れば、その効用はコスト削減、効率化のみにとどまってしまう。それどころか、アプリケーション、ITサービスで本当に実現したかったビジネス価値の提供が棄損されることにもなりかねない。顧客満足につながる上に、低コストで効率的なサービス開発の在り方、ローコードツールの使い方を伝授する。

視聴者の抱える課題

- ビジネスのニーズに即応できる開発体制の構築方法が分からない
- 開発部門とビジネス部門の連携のさせ方が分からない
- ローコード開発のメリットを知りたい

キーワード

- ローコード開発
- 高速開発
- DX
- 効率化
- コスト削減

タイムテーブル

3月18日（火）			3月19日（水）		
		セッション1-1：ソフトウェア品質向上 セッション1-2：内製化支援			セッション2：ローコード開発
時間	枠時間		時間	枠時間	
13:00-13:40	40分	基調講演1-1 (ソフトウェア品質向上)	13:00-13:40	40分	基調講演2 (ローコード開発)
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション 1-1 (ソフトウェア品質向上)	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション2-1 (ローコード開発)
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2 (ソフトウェア品質向上)	14:30-15:00	30分	スポンサーセッション2-2 (ローコード開発)
15:10-15:50	40分	基調講演1-2 (内製化支援)	15:10-15:40	30分	スポンサーセッション2-3 (ローコード開発)
16:00-16:30	30分	スポンサーセッション1-3 (内製化支援)	15:50-16:20	30分	スポンサーセッション2-4 (ローコード開発)
16:40-17:10	30分	スポンサーセッション1-4 (内製化支援)	16:30-17:00	30分	スポンサーセッション2-5 (ローコード開発)

※スポンサーセッションが2社未満の場合は、タイムテーブル（開催日やセッション順）の調整、集客人数が変更になる場合がございます。
※ご協賛状況に応じて、開催日程を含めたタイムテーブルが変更になる可能性があります。

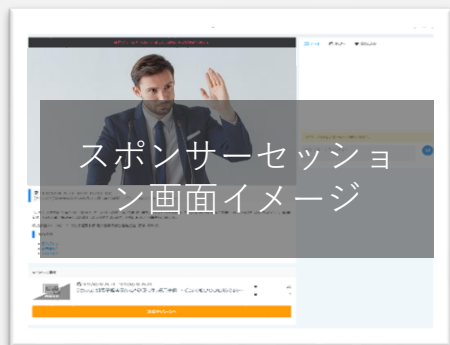
	プラチナ	ゴールド	全リスト	セクションリスト
スポンサーセッション Live配信＋アーカイブ	●	●	-	-
全申込者リスト（600～800件想定）	●	-	●	-
セクション申込者リスト（350名想定）	●	● （上限450名）	-	● （上限450名）
セッションアンケート	●	●	-	-
視聴者データ・レポートサイト	●	●	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 （すべて税別・グロス価格）	¥3,800,000-	¥2,800,000-	¥2,400,000-	¥2,000,000-

※申込者数は想定値となります。
※セミナー全体のセッションスポンサー数が3社未満の場合、開催日、開催テーマを縮小いたします。その場合、イベント規模縮小に伴い全申込者数が減少いたします。
※各セクションのセッションスポンサー数が3社未満の場合、セクション申込者数が減少いたします。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる。スポンサーセッション枠をご利用可能。



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者の名刺情報のリストをご提供。
- ご提供情報：名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など
- イベント終了後3～5営業日以内にExcelデータ形式にて納品。

| セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者の名刺情報のリストをご提供。
 - ご提供情報：名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など
- ※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

| 視聴者データ・レポートサイト

- セッションのレポートサイトをご提供。
- ご提供情報：会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

オプションメニュー1

| 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申し込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥180,000~**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品するリード情報に、アンケート回答情報を付与したうえで納品いたします。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

| 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

| リード カスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって料金は変動
料金 500件~ **¥100,000~**

| ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

| テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3~4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可。

料金 **¥75,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー2

| セッション動画活用リード獲得

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性＆件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-09-02/2bfy1tr>

料金 **¥300,000～**

| タイアップ プッシュ ターゲティング & ABM

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。
- 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け。
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金 **¥1,300,000～**

| DXメディア横断 PV保証タイアップ

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作。
- DX関心層が多くメディア横断でタイアップ記事へ誘導。
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

10,000PV保証 **¥1,900,000**
料金 **¥1,700,000**

| セッションパンフレット作成 (IT・ビジネス関連)

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ (PDF/x) を納品。
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載。
- 読者への認知獲得も狙える。
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

料金 **¥1,200,000**

| CM動画放映スポンサープラン

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

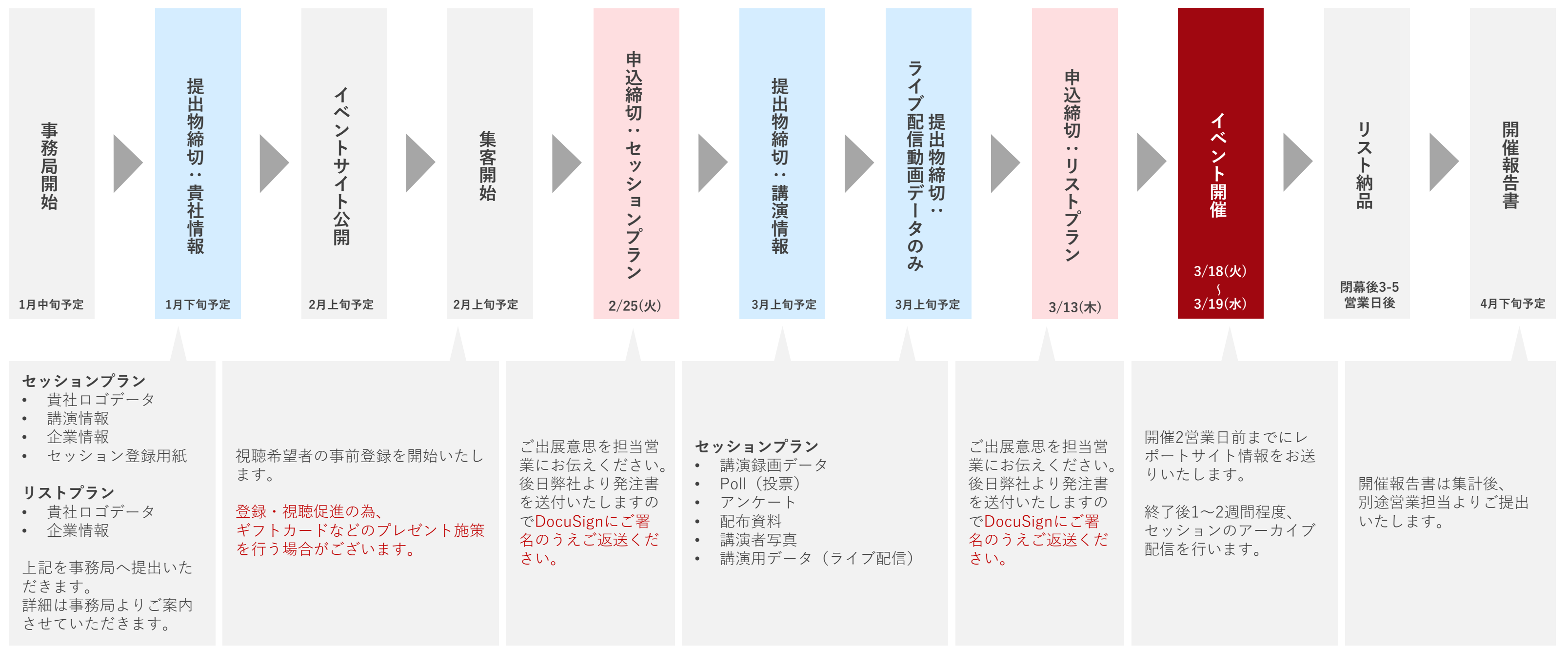
詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

※オプションのみでのお申込みはできません (すべて税別・グロス価格)

お申込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡致します。





名称	@IT 開発変革セミナー 2024 秋 ～堅実に、かつアグレッシブにデジタル化を進めるために 全業種で必要とされる知恵と知見～
開催日時	2024年11月13日(水)～11月14日(木) ※11月26日(火)までアーカイブ配信
対象	IT部門長、経営者、経営企画、社内情報システムの企画担当者、 開発・方針策定者など
主催	@IT
全申込者数	555人
視聴者数	406人
協賛 (※50音順)	シーメンス株式会社
申込みページ	https://members10.live.itmedia.co.jp/library/NzY3MTg%253D?group=kaihatsu2024A
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-12-08/2d1ns91

基調講演

【基調講演1】
ローコードツールと課題解決型学習で実現した
地域の「観光DX」

公立千歳科学技術大学
情報システム工学科／特任教授
曾我 聡起 氏

【基調講演2-1】
高品質と高スピードの両立を支える
ソフトウェアQA

テスト自動化研究会
井芹 洋輝 氏

【基調講演2-2】
デンソーにおけるDevOpsの効果的な活用方法

株式会社デンソー
クラウドサービス開発部 プロジェクトマネージャー
佐藤 義永 氏

@IT

“ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア

■ URL

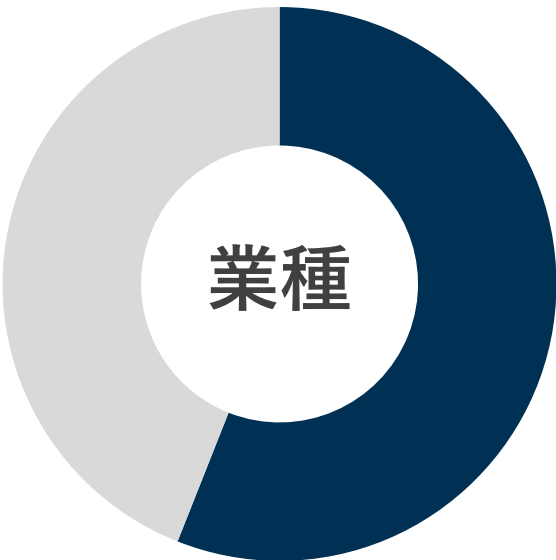
■ PV

■ メルマガ配信数

<https://atmarkit.itmedia.co.jp/>

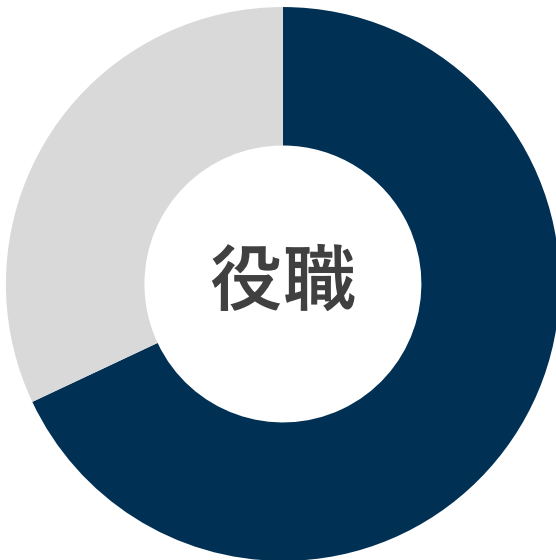
約770万 PV/月 約390万 UB/月 ※2024年1月実績

約54万通



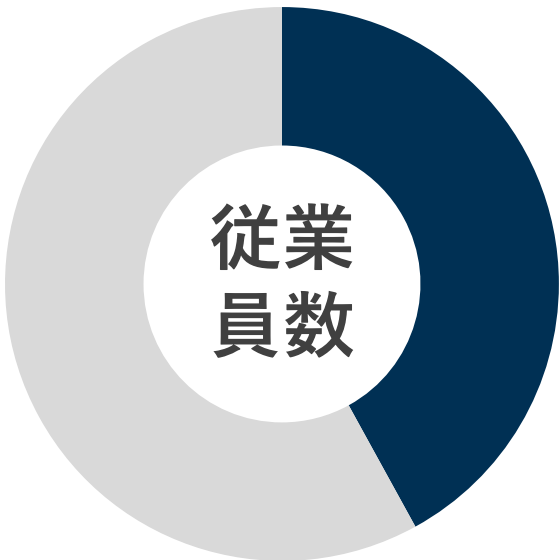
ユーザー企業 約**56**%

主な内訳：IT関連35.5%,製造業29%



係長クラス以上 約**60**%

主な内訳：係長クラス21.2%,部長クラス20.6%



1000人以上 約**41**%

主な内訳：1000人～ 5000人未満18.4%,
5000人以上24%

ご留意事項

｜キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

｜消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

｜配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

｜オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

メールでのお問い合わせ

mail : sales@ml.itmedia.co.jp

アイティメディア株式会社 営業本部

デジタルイベントの最新情報はこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>